

令和3年度 年度計画の概要

地方独立行政法人 長野県立病院機構

I 業務運営目標

第3期中期計画の2年目となる令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中で、医療提供体制改革、医師の働き方改革、患者の受診行動の変容など医療を取り巻く環境の変化に適切かつ迅速に対応するとともに、積極的に経営改善に取り組み、県民の視点に立ち患者に寄り添った、安全・安心で良質な医療サービス等を安定的に提供する。

特に、感染症への対応に当たっては、院内感染対策に万全を期し、感染者の積極的な受入れと適切な医療の提供を行う。

II 年度計画

条項	年度計画案
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 県立病院が担うべき医療等の提供	各病院は、地域の医療需要に応じた診療体制を整備するとともに診療機能の充実を図る。阿南病院、木曽病院は、へき地医療拠点病院として医療提供体制を維持する。
(1) 地域医療の提供	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡 へき地診療所への代診医の派遣（阿南） 新 下伊那南部地区診療所との連携方針を検討（〃） 新 産科ユニットの整備による産科療養環境の充実（木曽） 拡 準地域医療人材拠点病院として診療所への代診医の派遣（〃）
(2) 高度・専門医療の提供	各病院は、新型コロナウイルス感染症重点医療機関及び診療・検査医療機関（駒ヶ根を除く。）として、県が実施する感染症対策と連携し感染者を積極的に受け入れるとともに、診療・検査体制の充実により適切な医療を提供する。また、感染防止対策を徹底し、院内感染の防止を図る。
ア 感染症医療（新型コロナウイルス感染症対応を含む。）	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染者のうち、高齢者、基礎疾患を有する中等症患者を常時受け入れられるよう体制を整備（信州） ・海外赴任者等に対するワクチンの予防接種及び帰国後の輸入感染症への対応（〃） ・渡航者に対するビジネスPCR検査やスクリーニング抗原検査の自費診療を実施（〃） ・感染防止対策の徹底により、精神疾患を有する新型コロナウイルス感染者（疑い含む）の受入れ及びデイケアの継続（駒ヶ根） ・保健所等と連携した新型コロナウイルス感染者の受入れと検査体制の充実（阿南） ・感染者の受入れ、発熱外来及び自費での新型コロナウイルス検査の継続（木曽） <p>新 感染症に対応する感染隔離室の増設（こども）</p> <p>新 住民へのワクチン接種開始に伴う市町村への支援</p>
イ 精神医療 （こころの医療センター駒ヶ根）	<p>県の政策的・先進的な精神医療を担う病院として、24時間体制の精神科救急・急性期医療を提供するとともに、先進的な専門医療の充実を図る。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 m-ECT（修正型電気痙攣療法）センターの開設 新 子どものこころ総合医療センター（専門病棟新設）、思春期デイケア（小規模デイケア）の開設に向けた検討 新 アルコール・薬物・ギャンブル等に係る依存症専門医療センターの開設 新 CRAFT（依存症で悩む家族のための支援プログラム）の開始 新 ゲーム・ネット依存症に係る治療プログラムの開発及び診療体制整備
ウ 高度小児医療、周産期医療 （こども病院）	<p>県における高度小児医療、総合周産期医療の中核病院として、高度小児医療、小児在宅医療及び周産期医療等の診療体制の充実に取り組む。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 増加傾向の外来患者への対応と診療機能強化のため、外来診察室を増設 新 小児アレルギーセンターの開設 新 成人先天性心疾患センターの開設 新 移行期医療支援センターの開設 拡 ニーズに対応した診療体制を構築（例：成育女性科の開設）
エ がん医療 （信州、阿南、木曽、こども病院）	<p>質の高いがん医療を提供するため、がん診療連携拠点病院との連携を強化し、がん診療機能の向上に努める。</p> <p>【年度計画の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 地域がん診療病院の機能充実のため、歯科口腔外科を開設（木曽）

条項	年度計画案
(3) 災害医療等の提供	<p>災害拠点病院及びDMAT(災害派遣医療チーム)指定病院である木曽病院並びにDPAT(災害派遣精神医療チーム)先遣隊登録病院であるこころの医療センター駒ヶ根を中心に、各病院が災害発生に際し、必要な医療を確実に提供する。</p> <p>【主な取組】 新 電子カルテの更新に合わせた電子カルテデータのバックアップ (阿南) 拡 災害拠点病院としての機能強化のため、井戸水の浄化設備を整備 (木曽)</p>
(4) 認知症の専門医療の提供	<p>こころの医療センター駒ヶ根は、地域型認知症疾患医療センターにおいて、関係機関等と連携し認知症の専門医療・専門相談を提供する。また、阿南病院及び木曽病院は、認知症の医療需要に対応するため、診療及び患者・家族の相談支援体制を充実する。</p> <p>【主な取組】 新 せん妄ハイリスク患者ケア加算の取得 (阿南)</p>
(5) 介護サービスの提供	<p>阿南及び木曽介護老人保健施設は、在宅復帰に重点を置いたサービスを提供する。阿南病院は、訪問看護ステーションの運営により在宅医療・介護サービスを提供し、木曽病院は、介護医療院の運営により介護ニーズに適切に対応する。</p> <p>【主な取組】 新 訪問看護ステーション事業所への移行に向けた検討 (信州) ・ 関係機関と連携し、介護ニーズに対応した訪問看護ステーションの安定的な運営及び利用者の拡大 (阿南) ・ 介護医療院、介護老人保健施設及び地域包括ケア病棟の役割分担の明確化と効果的な活用 (木曽)</p>
2 地域連携の推進 (1) 地域医療構想への対応 (2) 地域包括ケアシステムの推進 (3) 地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進	<p>各病院は、地域の実情に応じた医療・介護ニーズに適切に対応するため、在宅医療に積極的に取り組むとともに、関係機関等と連携し、各地域の地域包括ケアシステムにおける役割を果たす。</p> <p>【主な取組】 新 プロジェクトチームを設置し、返書作成マニュアルの整備及びかかりつけ医との連携強化による逆紹介率の向上 (信州) 新 心不全、糖尿病、フレイル等に対する地域連携ケアシステムの構築に向け、多職種による予防的リハビリテーションを実施 (〃) 拡 精神科訪問看護ステーションの開設に向けた基礎調査等の準備 (駒ヶ根) 拡 認定看護師等の知識を地域に対し広報誌等で積極的に発信 (阿南)</p>
3 医療従事者の養成と専門性の向上 (1) 県内医療に貢献する医師の確保・養成 (2) 機構職員の養成 (3) 県内医療技術者の技術水準の向上への貢献 (4) 信州木曽看護専門学校の運営	<p>各病院は、その特色を活かした臨床研修プログラム等により初期臨床研修医等の受入れと育成を行うとともに、研修の充実を図ることにより機構職員の知識、技術、資質の向上を図る。本部研修センターは、外部医療機関等と連携し、シミュレーション教育を活かした研修会等を実施し、県内医療従事者の技術水準の向上に取り組む。</p> <p>【主な取組】 新 信州大学医学部との寄附講座を開設し、総合内科専門医の育成プログラムの策定及び専門研修医の受入れ準備 (信州) 新 生活習慣病全般にわたる栄養管理・栄養療法ができる管理栄養士の養成 (〃) 新 医師確保を目的とした阿南町との連携による医師住宅の整備 (阿南) 新 各病院に精神看護の経験者を配置するため、こころの医療センター駒ヶ根への人事交流を検討 (本部) 新 Web会議システムを活用したシミュレーション研修の実施 (研修セ)</p>
4 医療の質の向上に関すること (1) より安全で信頼できる医療の提供 (2) 医療等サービスの一層の向上	<p>各病院が連携して医療安全対策を推進し、医療安全の標準化と質の向上に努める。患者満足度調査により患者及び家族の要望・要求を把握・分析した上で、よりよい患者サービスの提供に努める。</p> <p>【主な取組】 ・ 医療安全相互点検の実施及び医療安全管理研修会の開催 (本部) 新 番号案内表示システム、自動精算機の導入 (信州) 新 薬局、院内保育所を含めた敷地内集合店舗施設等の誘致に向けた検討 (〃) 新 クレジットカード支払導入による利便性の向上 (阿南) 新 ACP (アドバンス・ケア・プランニング) に基づくリビングウィル (事前指示書) の取組みを推進するため、患者サポートセンター内に相談窓口を設置 (木曽) 新 患者の入院前から退院後までを多職種連携で支援する患者サポートセンターを開設 (こども) ・ 医療の質の向上と病院運営の透明化のため、病院機能評価の更新 (駒ヶ根・こども)</p>

条項	年度計画案
(3) 先端技術の活用 (4) 信州大学等との連携 (5) 医療に関する研究及び調査の推進	<p>訪問診療における遠隔診療の実施や、電子カルテの相互参照等、医療分野における最新技術の活用により、医療従事者の負担軽減、業務の効率化を推進する。また、臨床研究を推進し、医療技術・医療水準の向上に努める。</p> <p>【主な取組】 新 県立病院の画像診断体制強化のため、本部画像診断センターを開設（本部） 拡 タブレットによるAI問診サポートの積極的活用及び実施する診療科の増設検討（信州） 新 モバイル端末の活用による医療従事者間の情報共有の推進（木曽） 新 外来診療におけるAI問診サポートの導入（〃） ・ 信州大学との連携大学院教育による勤務医の博士号の取得及び職員の研究活動の促進（駒ヶ根・こども） 拡 オンライン面会システムの拡充（こども） 拡 科研費の活用による研究の促進と最先端医療に対応できる人材の育成（〃）</p>
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 業務運営体制の強化 2 働き方改革への対応 3 職員の勤務環境の向上	<p>医療環境の変化に柔軟に対応した的確な組織・人事運営を行うとともに、医師の労働時間短縮に向けた取組を推進する。また、労働時間の適正な管理や有給休暇の取得促進を図るなど職員の職場環境の整備を推進する。</p> <p>【主な取組】 拡 昨年度導入した人事評価制度の実績検証と課題整理及び見直し（本部） 新 医師の時間外労働の上限規制適用開始（R6～）に向けて各病院が策定する「医師労働時間短縮計画」に対する支援（本部） 拡 本部事務局職員による相談体制の強化及び各病院の相談体制との連携強化（本部） 新 夜間看護補助者の導入により看護師のタスク・シフトを推進（信州） ・ 病棟夜勤者ユニフォーム導入の効果を検証（〃） 拡 医師事務作業補助者等を活用した医師及び看護師のタスク・シフトの推進（駒ヶ根） 新 電子カルテの更新に合わせた先端機器によるオンライン診療の検討（阿南） 拡 労働時間の把握・分析及び衛生委員会による院内への内容周知（〃） 拡 時間当たり採算指標等を用いた職員の経営参画を促す仕組みの推進（木曽） ・ 多様な業務に対応するため、所定労働時間帯の柔軟な運用による時差勤務の推進（〃） 拡 ボランティアの募集に係る仕組み作りとその活用による職員の負担軽減及びサービスの向上（〃） 拡 会議運営の見直しによる業務の効率化（〃） ・ 看護師の夜勤回数の適正化と医師の働き方改革への対応を検討（こども）</p>
第3 予算、収支計画及び資金計画 1 経常黒字の維持 ※予算、収支計画、資金計画(略) 2 経営基盤の強化(収益の確保、費用の抑制) ※患者数目標等(略)	<p>様々な診療報酬加算や施設基準の取得のほか、DPC係数向上の検討等、診療報酬改定に的確かつ迅速に対応し、収益を確保する。 診療材料や医薬品等の適切な管理により、コスト削減に努めるとともに、経営状況の分析を随時行い、費用対効果を意識した業務改善に積極的に取り組む。</p> <p>【主な取組】 拡 病院と機構本部が連携した卸業者又はメーカーとの価格交渉の実施等による医薬品費及び診療材料費の削減（本部） 新 一般競争入札による電力一括契約の実施（本部） 拡 m-ECT（修正型電気痙攣療法）センター開設（施設改修）による治療件数及び入院患者の増（駒ヶ根） 新 阿南町と連携し、病院敷地等の借地の集約化による賃貸費用の抑制（阿南） ・ JACHRI（日本小児総合医療施設協議会）診療情報分析連絡会での情報交換によるDPC請求における精度の向上（こども）</p>
第4～第7 2省略	
第7 その他業務運営に関する事項 3 コロナ禍で取組む事項	<p>新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、以下の取組を行う。</p> <p>【取組の内容】 ・ 電話による再診・処方の実施（各病院） ・ 医学生へのオンライン病院説明会の実施（信州） ・ 外来診療におけるAI問診の活用（信州・木曽） ・ 体育館を利用したデイケアの実施（駒ヶ根） ・ 院内のWiFi環境の効果的な活用を推進（木曽） ・ 書面会議及びグループメールの活用（〃） ・ オンライン面会システムの拡充（こども） ・ オンライン授業の体制整備（看護学校） ・ オンラインによる会議及び打ち合わせ等の実施 ・ オンライン面会の実施（〃） ・ オンラインによる研修の実施（研修セ） ・ 時差勤務及び在宅勤務の推進</p>